

いばらき建設技術研究会
橋梁点検分科会 第5回リーダー会議議事録

平成17年10月14日(金)
於:茨城県道路公社会議室

1.出席者:13名

グループ所属氏名

茨城大学工学部 都市システム工学科(横山功一、原田 隆郎)

茨城県土木部 道路維持課(桑田 康司、古内宏)

茨城県道路公社(豊島 信義、竹井 悟)

コンサルタント(㈱長大 牧野 均、新星コンサルタント 成島肇寿)

橋梁メーカー(㈱東京鉄骨橋梁 加賀 豊丈、㈱ピーエス三菱 深津賢次、川田建設㈱ 渡部 寛文)

補修メーカー(ショーボンド建設㈱ 菊池 三千雄)

事務局(建設技術管理センター 園部 武正)

2.結果

(1)経過報告と今後の予定

- ・第1回橋梁点検分科会(2005年3/16)の開催から、4回のリーダー会議(4/13、6/3、7/8、10/14)を経て、7/22の総会開催時に活動報告を行い、現場見学会を2回開催(8/12、9/9)した。
- ・11月中旬位に橋梁分科会の「研究発表会」を開催する予定。

(2)「点検カルテ」について

- ・現地研修会を開催したなかで、カルテ(案)を各グループから提案してもらい、現在最終案に近い形でまとめている。(別紙参照)
- ・土木事務所の職員が現地に赴き、橋梁の状況を観察した結果を記述し、要処置事項や総合的な橋の健全度を維持担当責任者が判断する形を取る。
- ・検討事項としては、状況判断の事例集を作ること、総合的な判断を行う場合に交通安全上の観点と構造上の安全の2つのアプローチから判定できるようにすること、総合判定には、点検の各項目に重みを付けて数値化することなどが必要となってくるので今後検討を進める。

(3)データベースの考え方

- ・エクセル形式でデータベース化する。
- ・各土木事務所毎にデータベースを作成し、道路維持課にmail送付する。修正や点検実施で変更となった場合には、速やかに修正し、直ちに道路維持課に送付。
- ・データベースを基礎に、橋のアセットマネジメント化に取り組める体制を整える。
- ・案ができていますので、とりあえず水戸土木事務所とフォーマットについて事前協議を行ってみることとする。
- ・データの集中管理の手法を確立する。

(4)今後検討を進める事項は、次の通り。

- ・誰にでもできる橋梁点検カルテとすること。
- ・カルテのデータベース化の研究。
- ・点検映像とカルテの連携方法。
- ・診断用損傷事例の収集。
- ・点検費用の節約方法の研究。
- ・橋齢、橋種、環境を考慮した点検頻度の考え方。
- ・概算マニュアル化、予算平滑化のための補修工法のまとめ。
- ・実際の点検作業を行う現地研修会の開催。